2025年度

出張肝臓病教室in世羅　開催報告

日時：2025年9月27日（土）　13：30～15：30
場所：せらにしタウンセンター
参加人数：41名

今年度は、県内で肝炎ウイルス陽性率が比較的高い地域において、地域住民への啓発を目的としたイベントを企画しています。今回は、「世羅町で“がん”を考える会」との共催で出張肝臓病教室を実施し、無料肝炎ウイルス検査もあわせて行いました。

講演会

第1部「症状が出る前にするべき肝臓病対策」

講師：広島大学病院　肝疾患センター　教授　柘植　雅貴

肝臓の機能、病気やその治療、病気を防ぐ方法と幅広い内容でしたが、一般市民の皆様にわかりやすくお話をしていただきました。ウイルス性肝炎の早期発見の重要性はもちろんのこと、昨今増加しているMASLD（代謝異常関連脂肪性肝疾患）やアルコールとの付き合い方についても解説がありました。参加者と一緒に、食事・運動習慣の見直しについて考えるよい機会になりました。

第2部「歯科の病気と肝臓病の関係」

講師：広島大学病院　口腔先端治療開発学　教授　加治屋　幹人

歯周病の解説とともに、歯周病が肝炎を悪化させる可能性について、お話していただきました。イラストや歯の画像を交えながら、口腔内の炎症が全身に及ぼす影響をわかりやすく解説いただき、日頃からの口腔ケアがとても大切とのことでした。しかし、歯周病は自覚症状もないため気づきにくく、防ぐためのセルフケアも意外と難しいため、定期的な歯科検診の重要性も伝えられました。

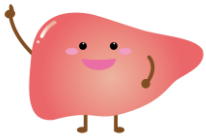
イベントブース

❶ 無料肝炎ウイルス検査

全ての講演終了後に、希望者には無料肝炎ウイルス検査を実施しました。受検制限は設けず、**7名**の方に検査を受けていただきました。また、アンケートからは「肝炎ウイルス検査をきっかけに出張肝臓病教室に参加した」と回答された方もおられ、検査を通じて啓発の広がりも感じられました。

待合席から歯周病と肝臓病の関連が分かるポスターを掲示しました

Inbodyの様子



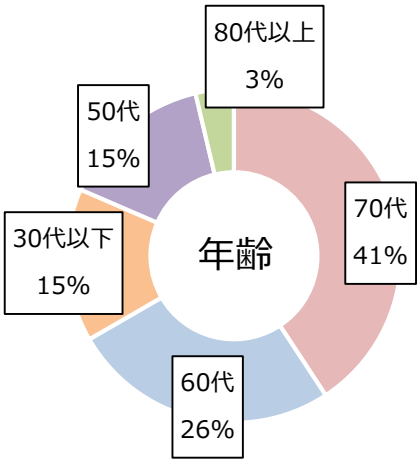
❷ 筋肉量/握力測定体験（inbody）

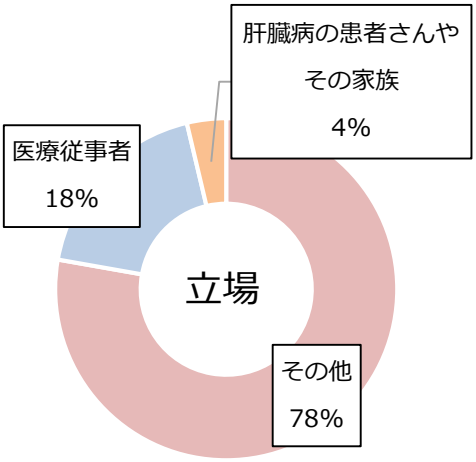
体組成と握力を測定し、筋肉量や体脂肪率を数値で確認できる機会を設け、**20名**が参加しました。運動不足や体重増加を感じている方が多く、実際に測定結果を見ながら医師から説明を受けることで、運動の大切さを実感し、今後、何かしら取り組むモチベーションが高まったという声が聞かれました。

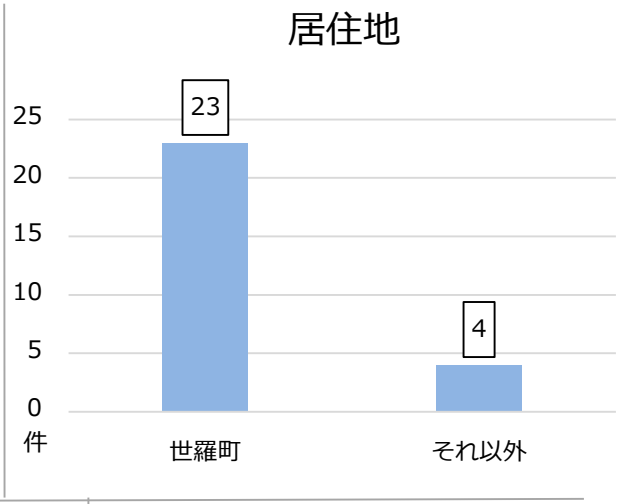
アンケート集計結果

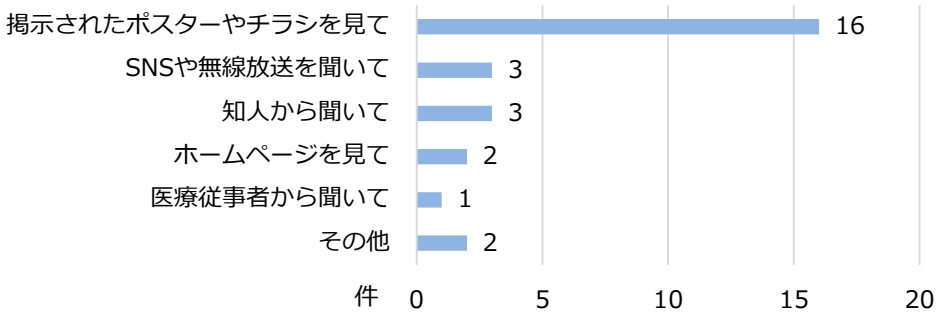
アンケート回答者数：27名

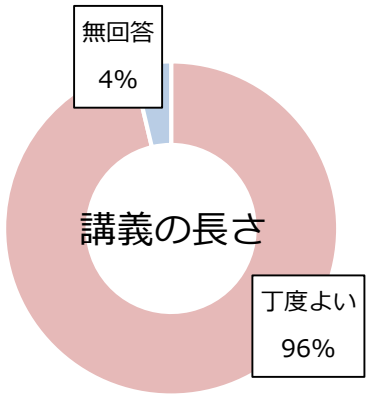
参加者の約8割は「テーマに関心を持って参加した」と回答しており、肝臓病への関心を抱く地域住民が、一定数おられることがうかがえました。また開催後、理解度を確認する目的で、各演題に関するクイズを2問実施したところ、いずれも9割を超える正答率（クイズ①：22名中20名、クイズ②：22名中21名）であり、参加者の理解の深さや講義内容の伝わりやすさが示唆されました。また、満足度については9割以上が「満足」と回答し、講義の時間や内容にも好意的な意見が多く寄せられました。参加者の多くが世羅町在住であり、地域に密着した開催であったことから、地域住民への知識啓発の機会として評価を得たと考えております。

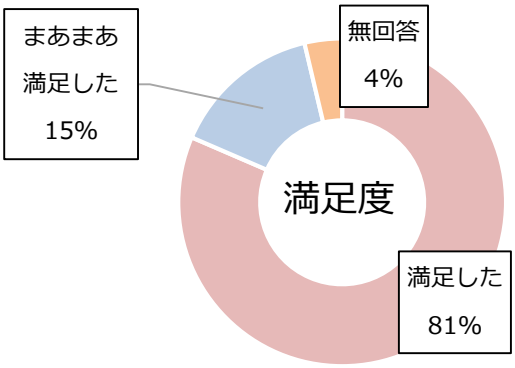


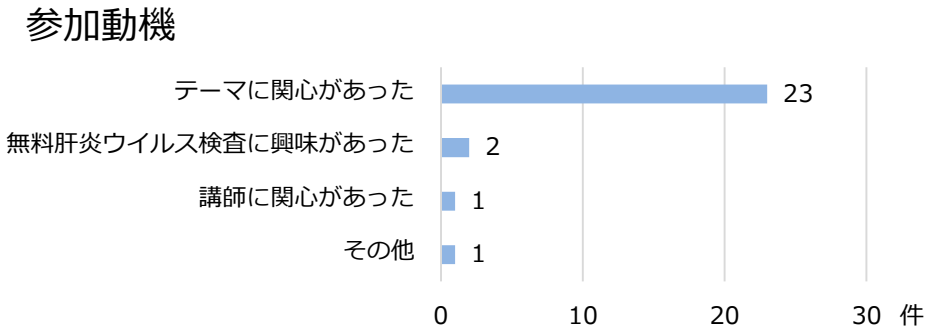












参加者からは

- 「脂肪肝防止に向けて取り組みたい」
- 「肝臓と歯の関係性の話が聞けたことは今後の歯磨きに大いに役立つと思った。」
- 「まさか歯周病がこれほど悪さしているとは！おどろきました。歯磨き、無料受診、食べ過ぎを控え、運動したいと思う。」
- 「肝臓の病気について、最新の情報を知ることができた。」

といった声が寄せられました。

この度は多くの方にご参加いただき誠にありがとうございました。